

第12回 大和高田市 口腔ケア研修会(医科歯科連携)開催報告

- 日 時：平成31年2月7日(木) 17時30分～19時00分
- 場 所：放射線治療棟 3F 大会議室
- 参加者数：・院外 合計30名：歯科医師23名、歯科衛生士6名、訪問看護師1名
・院内 合計名27名：医師3名、看護師16名、訪問看護師2名、
管理栄養士1名、薬剤師1名、ST1名、MSW3名
- 講 師：奈良春日病院 歯科口腔外科 中嶋 千恵
大和高田市立病院 副院長 仲川 嘉紀



まず、奈良春日病院 歯科口腔外科 中嶋 千恵先生より「口腔ケア時の水分の扱い」についてお話になりました。口腔内での細菌が多くなると、誤嚥性肺炎を引き起こす原因となり、口腔ケアを行うことで肺炎予防に繋がります。予防方法としてブラッシング時の操作方法や水分の扱いについて説明されました。そして口腔ケアの実施の際に、誤ったブラッシングや水分調整を行うとさらに病気を助長してしまうおそれがあり、医療スタッフは正しい口腔ケアの知識を身につけることが大切であることを学びました。



そして、患者・ご家族さんの意思を尊重し、歯科医師だけでなく、多職種によって構成された医療チームで関わりながら診療プロセスを決定していくことが重要であると話されました。



次に、仲川副院長から「歯科医療における腎不全患者の特徴について」話がありました。腎不全患者の病気の特徴、使用する薬剤が歯に及ぼす影響について説明がありました。歯科受診の際に病院からのお薬情報がない場合もあり、改めてお薬情報を提供することが大事であると再認識しました。今回の研修会で、口腔ケア及び腎不全について理解を深めました。今後のケアに活かしていきたいと思えます。



皆さま、お忙しい中、ご参加有り難うございました。



第12回 大和高田市口腔ケア研修会（医科歯科連携）アンケート

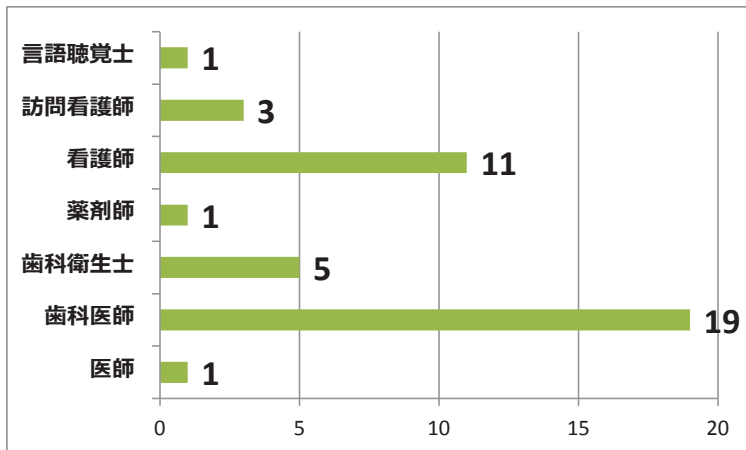


- 参加者数：57名（講師：2名 院外：29名 院内：26名）
- 回収数： 41名 ● 回収率：71.9%

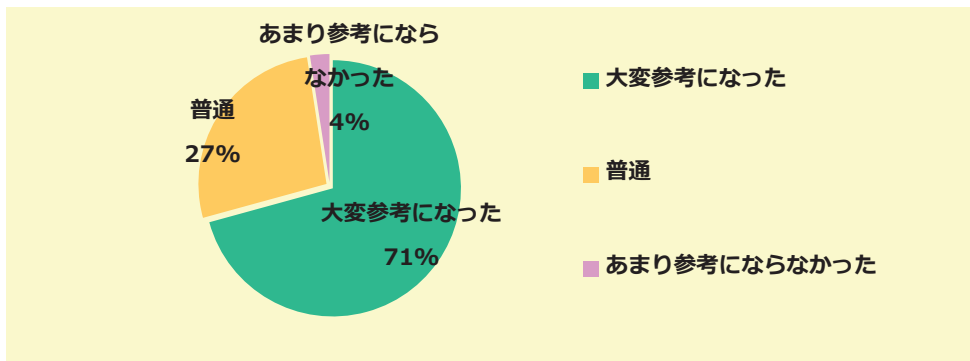
講演内容

- 『口腔ケア時の水分の扱い』
奈良春日病院 歯科口腔外科 医長 中島 千恵先生
- 『歯科医療における腎不全患者の特徴について』
大和高田市立病院 副院長 仲川 嘉紀先生

1. 職種をお聞かせ下さい。



2. 今回の研修会は自己課題の解決や参考になりましたか。

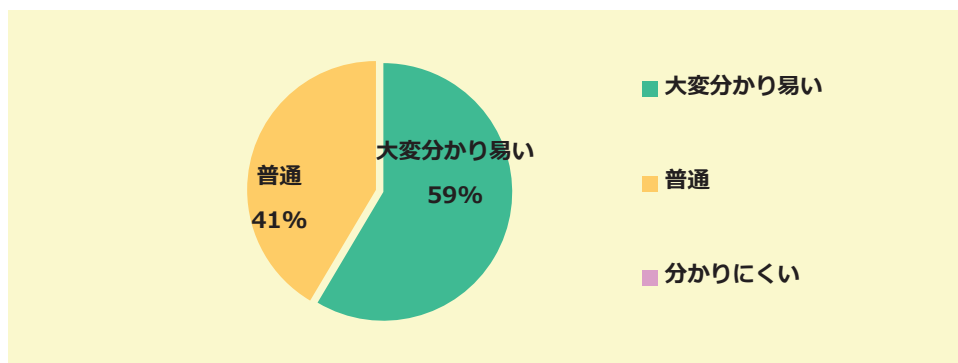


参考になったのはどのようなところでしょうか。

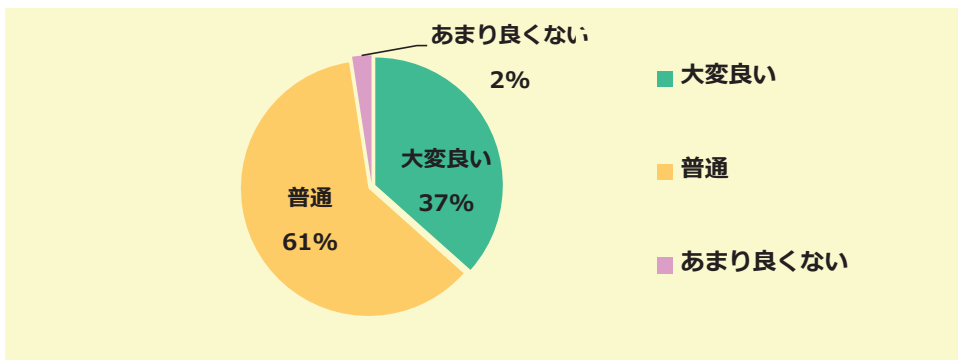
- ・全身、特に腎不全がどのようなものかについて。透析による合併症など
- ・腎臓病患者さんに対する薬剤の注意事項
- ・口腔ケア時の水分の扱いについて
- ・口腔ケアの仕方によっては肺炎をおこす可能性があること
- ・口腔内細菌と誤嚥性肺炎との関連 口腔ケアの大切さを再確認
- ・腎不全Krの薬や副作用について
- ・多職種連携の必要性について 腎疾患患者について知識を得ることができました
- ・薬の使い方
- ・腎不全患者の薬剤について
- ・口腔ケアでふきとりが大事なことは勉強になりました。見た目だけできれいになっただけではだめなんだと教わりました

- ・口腔ケアのふきとりや方法を再確認できたから
- ・口腔ケア方法
- ・透析されている方と薬について
- ・腎症と歯科治療との関連について
- ・薬の服用などについて 腎についての知識が乏しいため
- ・知識の整理になりました
- ・口を開かない患者へのマウスケア方法
- ・マウスケアの重要性を改めて理解できた
- ・CKDの説明

3. 講義内容は分かり易かったですか。



4. 時間配分は良かったですか。



5. その他、お気づきの点や今後取り上げて欲しいテーマ等ありましたら、ご記入下さい。

- ・長期入院患者のパーシャルデンチャーは常時はずしていた方がいいのか 常時装着していた方がよいのか。細菌数の増加からくる肺炎が多発しますが、はずすと看護師さんではパーシャルは装着できないようです
- ・いつも勉強になるテーマを提示していただきありがとうございます
- ・場内のマイクの明瞭度が悪い